

RTC関連オブジェクトのCORBAからの分離

2008/10/29 14:30 - n-ando

ステータス:	却下	開始日:	2008/10/29
優先度:	通常	期日:	2008/11/07
担当者:	n-ando	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	40.00時間
対象バージョン:			

説明

doilの導入に伴い、RTC関連オブジェクトをCORBAから分離する。
 分離するにあたり、idl->C++マッピングは、Iceに似たできるだけ自然な形のマッピングとする。
 IDLのインターフェース型は、単純にインターフェースのポインタ型とする。
 また、導出されたマッピングをいったんインターフェースとして定義し、実装クラスとは分離する。

実装しなおすオブジェクトは以下の通り、

- ComponentAction
- DataFlowComponent
- DataFlowComponentAction
- ExecutionContext
- ExecutionContextService
- Fsm
- FsmObject
- FsmParticipant
- FsmParticipantAction
- FsmService
- LightweightRTOBJECT
- Mode
- ModeCapable
- MultiModeComponentAction
- MultiModeObject
- PortService
- RTOBJECT

インターフェースはこれらのクラス名に接頭辞'I'をつけた名称とする。
 実装クラスは、これらの名称に接尾辞'Impl'をつけた名称とする。
 これらの実装にはCORBAもしくはそれに類する機能を一切使わないこと。

履歴

#1 - 2009/01/23 17:41 - ta

- 優先度を急いでから通常に変更

#2 - 2009/02/05 17:07 - n-ando

- ステータスを新規から却下に変更

- 進捗率を0から100に変更

doilの導入が延期されたので中止する。